



# 国労東京支部

2025年4月17日

第73号

国鉄労働組合東京支部機関紙

発行責任者 松田 恭明

編集責任者 佐藤 賢一

## 東京支部第2回分会長会議開催

4月12日、地本会議室において第2回分会長会議を開催した。前段に鈴木東京地本特別執行委員から、組織強化拡大に向けた取り組み、TUNAGU登録拡大の意義と必要性が訴えられた。続いて松田委員長は①JR各社の春闘回答について②ダイヤ改正での常磐緩行線・南武線のワンマン化問題③組織再編について、の3点に触れてあいさつした。鈴木書記長は、組織整備についての支部としての考え方、新入社員対策、春闘の取り組み、労働条件改善に向けた提起をした。4月から東京地本の専従となった松吉執行委員から「組織拡大を喫緊の課題として取り組み、首都圏地本体制にスムーズに移行できるよう尽力していきます。よろしくお願ひします」とあいさつを受け、全体討論へと入った。

### A分会

- 新入社員の集約先が大宮となった。採用状況は昨年並みと聞いている。  
連携をとりながら対応していきたい。

### B分会

- ワンマン運転で心配なのは車イスの関係。これまで車掌に連絡を取っていた。今後バディコムを使って運転士と確認し合うことになる。それが繋がらない場合、列停を含めてあらゆる手段で電車を止めろ、と説明を受けた。今のところそのような事象はないが、そのようなときの対応を職場で話し合っている。
- JESS社員はドアコックを扱えない。会社は、運転士が放送して旅客に扱ってもらえ、という訳の分からない説明をしている。以前は車掌の行っていた業務を駅員がやらざるを得ないという事象も出てくる。今でも偽装請負がグレーなのが真っ黒になるという懸念がある。偽装請負問題は残念ながら国労の中では団交もできないし、問題点も明らかにできていない実態がある。
- 今回のダイヤ改正でMVで定期券の払い戻しができるようになった。社員が設定することによっていろいろできるようになったが、勉強会も行われず「タブレットに出てるので見ながらやってください」など、会社は何でもかんでもタブレットに載せ、必要な説明をしないのは問題がある。
- 契約社員の場合、諸行動へ参加するのにもお金がかかる。会議等に参加するのも交通費は自腹で、ということになれば自然と足が遠のくのではないか。ぜひ議論してほしい。



## 書記長答弁

- JESSの実態については、要求を出して改善に向けた努力をしていきたいと思います。上部機関に上げて交渉をするということも進めていきたいと考えています。
- 契約社員になり、こういう場に参加する交通費がかかる実態について、切実な声があがりました。支部として貨物の方とJESSの方については交通費支給というのが基本スタンスです。会議はそのようになっていますが、行動参加等については議論不足でした。執行委員会で持ち帰り検討させていただきたいと思います。
- 組織整備関係で財政の質問もありました。東京地本の諮問機関である職協の管轄は、現在たたき台の段階です。班として財政を持つことは考えていません。昔の通帳、凍結もしくは凍結寸前の通帳が出てきた場合、取り扱いが難しい場合は支部に相談してください。

# JR大井工場アスベスト裁判 「勝利和解」報告集会開催

4月7日、大田区消費者生活センターにて、旧国鉄・JR大井工場アスベスト裁判を支援する会の主催で報告集会が開催された。45人の仲間が参加し、東京支部も参加要請を受けて2人が参加した。主催者、弁護団、原告からそれぞれ挨拶を受け、乾杯をしてから和やかな会に進んだ。弁護団の報告、原告からのお礼の一部を掲載する。

## 福田 護弁護士

JR東日本を相手に判決までいったのは初めてのケース。この間、労災認定はあったが、裁判まではいっていなかつた。圧倒的に工場で働いていた社員が多い。特筆すべきは、国鉄及び被告JR東日本の安全配慮義務違反の態様は、昭和62年4月1日の前後においてなんら変わりがないのであるから、国鉄及びJR東日本の各安全配慮義務違反は、社会通念上一個の行為とみることができる、とした点である。

## 山岡 遥平弁護士

本人が亡くなってしまったなぜ勝てたのか。家族が引き継いで闘ってきたこと。また、一緒に働いてきた仲間が、この人はこういう仕事をしてきた、ということをしっかりと説明できたことだと思う。

今後の課題は、JR職場で退職後に頻発するアスベスト疾患に、企業としての補償制度を確立させることにある。



## 黒沼 努さん（原告）

裁判は4年以上かかりました。この場に父がいないことが心残りです。労働者として企業に安全の配慮をしてもらうことは当たり前のことであります。裁判を通じて、父がいかに厳しい環境で働かされていたか理解できました。今裁判をきっかけに、労働者が安全に働き続けることが、いかに大切なことを学びました。今後も訴え続けていきたいと思います。長い間のご支援ありがとうございました。

## 当面の日程

4月25日 JAL争議支援大集会 18:30～北とぴあさくらホール（参加費1,000円）

5月1日 第96回日比谷メーデー 開場9:00 開会9:40 デモ出発11:25

非番の方はデモからでも参加を！

5月31日 支部BBQ交流会 10:30～13:30 新宿京王デパート屋上（参加費1,000円）

6月22日～23日 支部組織対策交流会 熱海ホテルニューアカオ